

令和2年度 第1回 窯業技術研究所運営委員会 会議録

日 時：令和2年7月2日 9時56分から11時まで

場 所：瑞浪市窯業技術研究所 2階 資料室

出席者：委 員 三浦彰治郎（委員長）、塚本哲也（副委員長）、水野安喜、松崎捷也、
和田 孝、足立公子、加藤明代、中山恭平、日置哲也、河口建喜

瑞浪市長 水野光二

事 務 局 三浦正二郎（商工課長兼窯業技術研究所長）、
安齋久嗣（所長補佐兼技術開発係長）、大野万里子（所長補佐兼管理係長）

欠席者：委 員 田口典宏

1. 開 会

【事務局】

定刻となりましたので、ただ今より、令和2年度 第1回窯業技術研究所運営委員会を始めさせていただきます。

本日の運営委員会の開催にあたり、座席の間隔や換気、消毒液の設置など新型コロナ対策をとらせていただいております。また、本運営委員会は、公開の対象となっておりますので、傍聴席を設けており、市のホームページでも議事録を公開させていただきますのでご承知おきください。

申し遅れましたが、わたくしは、4月から窯業技術研究所長兼商工課長の拝命をうけました三浦と申します。本日の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の資料などのご確認をお願いいたします。今年は2年任期である運営委員の1年目の年となります。本来であれば、水野市長からお一人お一人に委嘱状をお渡しさせていただくものではありますが、コロナ感染予防対策として、お手元に委嘱状をお配りしました。資料について、運営委員会の次第、運営委員名簿、ホチキス止めした右肩に「資料1」と書かれた資料、カラーの別紙資料と、昨年施設見学に来られた瑞浪小学校の生徒さんからの御礼の手紙のコピーが添付してございます。

本日の会議の成立についての報告です。田口委員が欠席ですが、11名中10名のご出席をいただき、過半数の出席がありますので本会議が成立していることをご報告いたします。

では、次第に沿って進めさせていただきます。水野市長より、ごあいさつをいただきます。

2. あいさつ

【市 長】

おはようございます。第1回窯業技術研究所運営委員会にご出席賜りましてありがとうございます。2月後半から、新型コロナウイルス感染症が全国で発生し拡大しており、市としても県と連携を取って様々な対策を取っております。本会議でも密接、密閉にならない様にさせていただきました。おかげさまで瑞浪市内の感染者の発生はありませんが、東濃厚生病院に勤務する看護師が感染されてしまい、重篤な状態であるという事です。一日も早く回復する事を願っております。瑞浪市内で発生していないのは市民の皆様が自粛に協力して頂いたことと、感染対策を自らとった結果ではないかと思っておりますがウイルスが無くなった訳ではないので「with コロナ」という事で感染に注意をしながら生活していくという時代ではないかと思っております。特にこれから厳しい影響が出てくるのが業界の皆さんかと思っておりますので、市といたしましても業界の方々の支援についても考えております。

窯業技術研究所については陶磁器関係者の方々の拠点であり業界の発展に尽力していただいておりますが、これから企業の発展にどう寄与していくのかという事が大きな使命ではないかと思っております。アフターコロナという中で難しい所ではございますが、これを1つのチャンスとして新しい企画や開発、

販路の開拓等を企業の皆様は考えてみえると思いますが、窯業技術研究所としても新製品の開発、品質の向上についてお手伝いさせていただきます。

昨年度、新型の3D切削機を導入し今まで以上に精度の高い製品が出来るようになりましたので新商品開発にもご協力できるのではないかと思います。また、食器デザイン展の開催については将来を担う小・中学生の皆さんに小さい頃から陶磁器に親しんで頂き、陶磁器の仕事に興味をもっていただければと思っております。今年は例年の様な大きな展示会、表彰式は難しいと思っておりますので、Web展示会という形を考えております。デザインして頂いた作品を遠方のご親戚の方にも見て頂けるような展示会になればと思っております。

最後に窯業技術研究所の事務所、試験室を2階に移転し、観光協会を設置する計画についてですが、様々な事情がございまして予定が遅れていますが、ご理解頂きますようお願いいたします。

委員それぞれのご立場で様々なご意見ご提案頂きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、所長あいさつに移ります。私は、本年4月の人事異動により、小木曾所長の後任で参りました、窯業技術研究所長兼商工課長の三浦と申します。本日はご多忙のところ、また、コロナ禍のなか、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

まずは、本年2月の運営委員会にてお話のありました窯業技術研究所の事務所移転のその後の状況について、ご報告をさせていただきます。瑞浪市観光協会の法人化に伴い、事務所を1階に置くとの予定で進めておりましたが、現時点では、法人化には至っておらず、本年度は暫定的に市の商工課が観光協会事務局として対応しております。来週には、観光協会の本年度の総会が行われますので、その後、新たな体制のなかで法人化について進められることとなります。窯業技術研究所の事務所移転については、一カ所に集約して事務の効率化を図る観点から、順次、進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

窯業技術研究所での依頼試験や依頼試作については、昨年、新たに3D切削機を導入し、サービス向上に努め、地域の企業支援を行っております。現在の情勢としましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、全世界的に人や物の移動が制限され、経済活動が縮小し大変厳しい状況ではありますが、その中での様々なステージで「新しい生活様式」に移行しつつ、対応してまいりたいと考えております。

本運営委員会は、窯業技術研究所の附属機関という位置付けであることから、委員の皆様方のお力をお借りし、窯業技術研究所がより良い施設となるよう取り組んでまいりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

3. 委員長、副委員長の選任について

【事務局】

次に、「委員長・副委員長の選任について」ですが、あらかじめ事務局案をご用意させていただきましたので、ご意見などいただければと思っております。

委員長に瑞浪陶磁器卸商業協同組合の理事長の三浦委員、副委員長に瑞浪陶磁器工業協同組合の理事長の塚本委員です。委員の皆様のご意見はいかがですか。

【運営委員】

意義なし。

【事務局】

ありがとうございます。それでは、委員長は三浦委員に、副委員長は塚本委員にお願いいたします。

三浦委員長におかれましては、のちほどご挨拶をお願いいたします。

それでは、これより議題に入ります。議事の進行につきましては、規則により、委員長が議長を務めると規定されております。

4. 議 題

【議 長】

それでは、決まりにより議長を務めますが、皆様のご協力をお願いします。それでは、議事に入ります。議題（１）令和元年度事業報告について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

ご説明します。資料１の令和元年度 窯業技術研究所事業報告をご覧ください。
（資料１について説明）

【議 長】

令和元年度 窯業技術研究所事業報告について、ご質問等あればお願いします。無いようでしたら、ご承認いただける方は、拍手をお願いします。拍手多数により、本議題は、承認されました。

次の議題に移ります。議題（２）令和２年度事業計画について、説明をお願いします。

【事務局】

資料２の令和２年度窯業技術研究所事業計画（案）をご覧ください。
（資料２について説明）

【議 長】

令和２年度事業計画について、ご質問等あればお願いします。

【委 員】

セラミックトナープリンターの導入について、現在は無いのですか。

【事務局】

転写プリンターが１機ありますが、トナーの目詰まりが生じていて、保守契約期間が終了しており修理ができないことから導入ということになりました。

【委 員】

食器デザインは市内の小・中学校全体に募集されていますか。

【事務局】

市内の小学校、中学校を通じて募集をしています。学校のカリキュラムにより参加できる学年とできない学年があるようですので全校全学年という訳ではありませんけれども、おおよそ70%くらいの生徒さんが参加しています。（令和元年度 71.8% 2613人中、1878人応募）

【委 員】

県外にも試験機関があると思うが、そういう機関とも連携してはどうか。

【事務局】

異業種の機関との交流も進めた方がいいということですか。

【委 員】

異業種ではなく、県外の陶磁器関係試験機関から各産地の情報を収集し、またそれぞれの課題について話し合う等、外からの意見を聞く事も大切である。

【委員】

企業の方々は3Dシステムや依頼試験等を活用して商品開発をされていると思いますが、それに掛かる費用の減額等は考えていますか。

【事務局】

今のところはそういう事は想定していませんが、現場の声として必要だという事であればこちらも検討してまいります。

【市長】

ご意見ありがとうございます。先程ごあいさつさせて頂きましたなかで、コロナ対策支援と言う事で6月議会でも補正予算を組んで取り組めますが、国、県も支援が必要ならば対応するという事ですので、どのようなジャンル・場面でどのような支援をしたら成果が得られるか、業界の方々からご意見・ご要望をいただきたいです。また9月議会の補正でも対応を考えており、実際は秋以降の対応になると思いますが、皆様の意見を聞かないと分からないところもございますのでよろしくお願いします。

【委員】

新聞に、土岐市が2万円のうち1万円を補助と掲載されていたが、瑞浪はどうですか。

【市長】

土岐市のプレミアム率50%というのは、1軒に1万円分です。瑞浪市のプレミアム率は20%ですが、お一人に対してなので、家族が5人居ると掛ける5で1軒2万円分となりますので、土岐市より手厚いです。

【委員】

現在、メーカーがどのくらい影響が出ているのか伝えたいと思いますので、市からの支援をお願いしたいです。3月から極端は減収になり5月は昨年比の半分の収益でした。火曜と木曜を休業にしましたが、メーカーは人件費等の固定費が高く、売り上げが落ちると大きな影響があります。そのうちコロナウイルスも終息すると思っていたのですが、7月、8月以降も影響は長引くと思います。

かつての価値判断は変わりつつあり、新商品の開発、消費者が何を求めているのか等真剣に考えていく時期だと思います。まさに今、窯業技術研究所が行っているCAD講座や依頼試作等しっかりとした業界支援を続けてほしいと思います。

隣の市と比べてみますと、土岐市はしっかりとした試験場もありますので、もう少し瑞浪も使いやすく相談しやすい機関にしてほしい。例えば、コロナウイルスに係る外出自粛中は、業務用食器やギフト、雑貨商品はほとんど取り引きがありませんでした。メーカーが直接消費者に要望を聞いて作ることも根付いていないし、何を作っているのかわからない。そうなると直接足を運んで買ってもらうか、Web販売するなど違った方法が必要です。安く売るとは難しいですが、面白い、価値がある、というような事など窯業技術研究所の考え方を積極的に打ち出してもらって相談できる機関であって欲しいと思います。

【市長】

おっしゃるとおりだと思います。先程は試作依頼をした際に手数料等を減免にしてほしいというような具体的なご提案がありました。例えばWebサイトの立ち上げに50万かかったがいくらか支援してくれないかなど具体的な要望をいただけるとありがたいです。時間もあまりありませんが、9月議会にあげる予定で準備もしておりますので、7月末までにこんな支援をしてくれないかというようなご提案をいただければありがたいです。

【委員】

県の試験機関に業界からの要望や何か支援策があるか聞いてみてはどうか。

【委員】

少ない職員でこれだけの事業や試験、試作をやりながら、歳入も減っていないという事であれば窯業技術研究所はこのままの場所を維持してもいいのではと思います。観光協会の事務所を1階に作ると言ってみましたが、見たところ試験機器を移動したり事務所をあちこち移すなどとても大変だと思いますし、ここに窯業技術研究所があることで親しみやすかったのが残念に思います。個人的には、きなあに観光案内所を置いたらどうかと思います。

【市長】

参考にさせていただきます。

【委員】

若い方が上絵や転写で新しい物を作ろうと考えた時に、窯業技術研究所のような施設があると困ったときやハプニングに対して相談、質問ができますし、また色々な試作もできるので気軽に立ち寄られるように現状維持してほしいと思います。

【委員】

以前、観光協会の話しを聞いた時とは状況が大きく変わってメーカーの業績も落ち込んでしまったが、6月中旬ころから今までは無かった相談、例えば金属と組み合わせるだとか、抗菌の茶碗ができないかなど経験の無い話に対応できていない。何を作ったらいいのか先行きが見通せない状況なので、観光協会の話が下火になったのなら窯業技術研究所は現状のまま、事務所は1階にあった方がいいのではないのでしょうか。

【市長】

ありがとうございます。それぞれ関連したご意見をいただきました。瑞浪のいろんな産業の発展を進めるということで、観光協会はありませんが任意の団体で法人化されていないのは瑞浪だけでした。法人化した方が他の土岐・多治見・恵那・中津川と連携を取りやすくなるということで準備をしています。計画を進める上で、申し訳ありませんが場所的にもバイパス沿いで目につく産業振興センターが観光発信の拠点としても効果があるだろうという事でこちらになりました。

コロナウイルスなどいろいろな諸事情がありまして中断しておりますが、改めて観光協会としては大きな予算をかかえる事業でもあり失敗は許されませんので、どうしたらいいのかという事をもう一度考え直しているところでございます。しかし、全く白紙に戻してしまうということは考えておりませんので、窯業技術研究所の規模は小さくなりますが、機能は維持しながら、そして観光協会はちゃわんや瑞浪と同じ1階部分にと考えておりますのでご理解いただきたいと思います。

【議長】

ご承認いただける方は拍手をお願いします。議題の1、2については、承認されました。

5. その他

【事務局】

三浦委員長、スムーズな議事進行を誠にありがとうございました。議題については全て承認されたということでありがとうございました。それでは、次第の5、その他に移りますが、先ほど委員からお話がありましたが、各組合、企業さま具体的にお困りのこと等ありましたら後日でも結構ですのご提案なりご相談いただければご対応いたします。

事務局から、連絡事項がございます。現在、技術講座に関するアンケートを行っております。ご回答

をいただきありがとうございます。また、今年の2月にも紹介させていただきました、3D切削機ですが、新たな委員さんもお見えですので、本会議終了後に機械の説明やデモをご覧いただけますので、興味のある方はご覧ください。

では、以上をもちまして、令和2年度第1回窯業技術研究所運営委員会を閉会いたします。本日は、お忙しいところ誠にありがとうございました。